



2020. 8月第621号

発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもってみ前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

今月選ばれた聖書箇所は「恐ろしい力」という言葉は、どうも誤解を生みやすいのではないだろうか。恐怖、戦慄、怯え。なんだかそんな言葉ばかり、思いついてしまう。新しい聖書協会共同訳では、ここは、「私は恐れ多いほどに、驚くべきものに造り上げられた。」(詩139:11)となっている。「恐れ」と「畏れ」。

「ばならない」と。あらゆるものの創造者である神の力を、私たちが捉えたり、測ったりすることはできない。しかし、同時にあらゆるものの創造者である神の力は、すべてのものを創造し、「どのようにな小さな木の中にも存在せねばならない」(ルター「詩篇講解」)と。

れ、現代を颯爽と生きる人々が「もう神など恐れることなどない」と嘯いたとしても、私たちに逃れられないものがある。たとえその存在を無視し、その存在から逃げ隠れできたとしても、「あなたはどこにいるのか」(創世記3:9)と、私たちのうちに問いかける

瞑想

わたしはあなたに感謝をささげる。わたしは恐ろしい力によって、驚くべきものに造り上げられている。御業がどんなに驚くべきものか、わたしの魂はよく知っている。

詩編139:14

主幹牧師 榎本 恵

ものでない。人間のちっぽけな力や知恵では到底なすことのできない、全治全能の神の力があり、その前に人間は、ただただひれ伏し、畏れるほかないと、私は思っている。

宗教改革者のルターは、この詩編139編の講解の中で次のように書いています。「神の全能な力は、どこにもいままさなさと同時に、どこにもいままさなけ

ルターは、それをもっとも端的に言い表す言葉として「あなたがこの世から逃げ出しても、あなたは神の力から逃げられない」と言う。

畏れるべき方の声がある。「主を畏れることは知恵の初め」(箴言1:7)と、旧約の知者は教える。しかし、「主を畏れる」とは、ただ神の存在を無邪気に怖がり、恐れることではない

哲学者のニーチェは「神は死んだ」といった。科学者は神にも代わるテクノロジーを作り出す。しかし、どんなに高度に文明化さ

る神の存在を、まさに「あつ

てあるもの」として知り、その前にひれ伏し、畏れること、これこそが人の持つべき最初の知恵なのである。ヨブが、苦悩の末、最後に「あなたのことを、耳にしておりました。しかし今、この目であなたを仰ぎ見ます」(ヨブ42:5)と告白したように、また十字架の死に落胆しエマオへと向かう2人の弟子が、復活の主と出会い、目が開かれ、「私たちの心は燃えていたではないか」(ルカ24:32-32)と語り合ったように、私たちは皆、この主なる神を知らなければならぬのだ。「わたしは恐ろしい力によって、驚くべきものに造り上げられている。御業がどんなに驚くべきものか、わたしの魂はよく知っている」(詩139:14)。友よ、あなたの魂はよく知っているか。あなたは、あらゆるものの中に働く、驚くべき御業に、神の力に気づいているか。

“シメオン黙想の家” を感謝して

青々と茂り、果を結び、
なお新鮮なり

アシラムセンター
新常任運営委員長

鎌田 速明

続でした。

永年、造船・プラン
ト設計に従事してきた
関係上、将来の工程を
計画する習慣が身に付
きました。例えば、受
注時「3年後に顧客に
引渡し」と決定した船
を建造する場合、6ヶ
月後には基本設計完
了・特殊鋼板を発注、
1年後には詳細

設計完了、1年
3ヶ月後には主
機製造開始、補
機発注、2年
2ヶ月後には進
水式、そして試
運転、引渡しし
となります。
すなわち将来
の節目（マイル
ストーン）を思
い煩う作業の連

続でした。
一方、聖書は真逆の
表現をしています。イ
スラエルの民がカナ
ンの地を目指して荒野
を旅する時「夕方には鶉
を、朝にはマナを降ら
せて民を飢えから守つ
た主は『あなたたちは
それぞれ必要な分、つ
まり1人あたり1オメ
ルを集めよ』と命じら



旧佐藤邸、購入契約直前。最終確認し、祈り合
う青木兄、鎌田兄、恵師(写真左から)

れた。にもかかわらず
民は余分に集め翌朝ま
で残し、虫が付いて臭
くなつたのでモーセは
彼らに向かつて怒つ
た。」(出エジプト16..
13~20)

また、イエス様は主
の祈りで「われらの日
用の糧を今日も与え給
え」と余分な糧を求め
ることを禁じておられ
ます。「自分の命のこ
とで：思い悩むな。」
「空の鳥を見よ！：天
の父は鳥を養つてくだ
さる。」(マタイ6..11
~34)

わたし自身は「1週
間分の糧を」と不安で
たまりませんが、ア
シラムの原点に返
り、朝目覚めてまず、
今日1日分の霊/肉の
糧が与えられているこ
とに感謝し、聖言に信
従する生活：レビの時
を守っていることによ
り大きな祝福を主から

いただきます。

6年前購入しようとして、できなかつた
ヴォーリス建築が今回
奇しくも私共に与えら
れることになり、感謝
です。主のご計画は私
共の思いを遥かに超え
ていることを体験させ
ていただきました。わ
たしは年齢を重ねてい
ますが、「彼らは年老
いてもなお、青々と茂
り、果を結び、なお新
鮮なり。」(ルター訳
詩篇92..14)の喜び
の聖言に預かることが
出来、幸せそのもので
す。改築後「シメオン
黙想の家」に相応しく
「正しく、信仰の厚い」
シメオンのような者の
集まりとなることを
願って止みません。

(メノナイトブレザレン
星田チャペル)

(前常任運営委員長は後宮俊
夫師2018・12・23百天)

「シメオン黙想の家」計画へのお祈りと
献金への感謝と報告

榎本 恵

わたしがあなたの神、主であり、あなたの右の手を固く握り、「恐るな、わたしがあなたを助ける」と言う者だからである。

新改訳2017

イザヤ41・13

イエスは主なり

私たちの神は、大いなる力を持って、私たちの右の手を握られる方です。私たちをお助けくださる方です。今回の、「シメオン黙想の家（旧佐藤久勝邸）購入に際し、私たちは驚くべき神の御業に触れる事ができました。わずか、20日あまりの間に、アシラム債と献金を合わせ、6700万円に余る尊い献げものをいただく事ができました。コロナの時期でもあり、また購入

の期限が迫る中、本当に神様は、一人ひとりの心を動かされ、必要な時に与えてくださいました。主は、畏るべき方です。主の栄光が、ここに満ちています。

もちろん、アシラム債分、4400万円

は、これから返して行かなければなりません。また、改修費用、庭の整備、維持管理とかかる費用は出てまいります。しかし、神は必ず、この私たちの祈りと願いを聞き「恐るな、わたしがあなたを助ける」と言ってくださいるに違いありません。

私たちアシラム運動は、この世にあっては、まことに小さな存在に過ぎません。銀行に行けば、私たちの様

なもの、いくら「神様が必ず満たしてください」と主張しても、信用はしてくれません。それは当然のことでしょう。この世にあつては、この世の法則が支配しているからです。しかし、いざ本当に銀行にお金が振り込まれ、短期間の間に借りようとした額の資金が集まると、銀行は掌を返した様に、丁重に借りて欲しいと言つてこられました。まさに主の言われた「わたしは既に世に勝っている」（ヨハネ16・33）という言葉通りです。どうか、引き続き、お祈りお支えをお願いいたします。

コロナ、自然災害、政治の混沌など、世界は混沌とし、経済は疲弊し、今まで経験したことのない様な困難が、私たちを待ち

受けているでしょう。しかし、この45年前から祈り続けてきたアシラムセンターの「修道場計画」は、必ず成し遂げられると信じています。

今年のクリスマスには、「シメオン黙想の家」と「アンナ祈りの家」を用いて、主のお誕生を共に祝いたいと思っております。

どうか、その日を心待ちにしながら、祈りお支えください。私たちも祈っております。（アシラムセンター 主幹牧師）



「お父ちゃんの祈りが聞かれたんやなー」シメオン玄関先にて。和子母、るつこ姉

あとがき

本来ならば、東京オリンピックの喧騒の中にあるはずの、わたしたちの国日本であるが、一体誰が、こんなことになろうと予測し得たであろうか。コロナ、政治の腐敗、そして九州の水害など、私たちは現実起こる様々な問題に翻弄される。しかし、その中でも、決して「震われない御国と変わらない人格」（スタンレージョーンズ）がられる。この度の、「新修道場計画」への神の不思議な導きを思う時、私はまさにこの生ける神の前に平伏すのだ。経済の最も悪い時期に、誰も不動産の購入など考えられない時に、しかし神は働かれ、人を動かし、思いを起こさせ、それを現実のものとしてくださる。私たちアシラムセンターの働きを、主は祝してください。神は生きておられる。この神を畏れ、ひたすら聴き従って行こう。

（恵）

アナニアとサフィラ ①

(無教会 岡山キリスト集会京都大学在学中) 香西 信

香西師発行のマラナ・タより
(第45回年頭アシュラム早天祈祷会での聖書講話に加筆)

信じた人々の群れは心も思いも一つにし、
一人として持ち物を自分のものだと言うものはなく、
すべてを共有していた。(使徒言行録 4:32)



今年1月の年頭アシュラムにて。
後列左から3人目

1. 初代教会の生活

使徒言行録を読んでいると気づくことは、初代のエルサレム教会の信徒たちの特徴を描く言葉として「一つになって」「心を合わせて」「心を一つにして」という言葉が頻繁に出てくることでしょう。例えば 1:14「彼らは皆、婦人たちがイエスの母マリア、またイエスの兄弟たちと心を合わせて熱心に祈っていた。」2:1「五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると」4:24「これを聞いた人たちは心を一つにし、神に向かって声をあげて言った。」4:32「信じた人々の群れは心も思いも一つにし、」とあります。これらの記述からは、初代エルサレム教会の信徒たちは非常に敬虔な、信仰心の篤い集団として一つにまとまっていたことがわかります。

また 32 節の後半では、「一人として持ち物を自分のものだと言う者はなく、全てを共有していた。」と具体的にどのように生活していたかということが書かれています。

マラナ・タ 第65号 2020年2月より (続)



“ちろばチャンネル”にて、保郎牧師のミニ説教(懐しい写真も)配信中!
夕礼拝、各聖書教室(患師の話)共にご覧下さい!
ご遠方からでもご参加できるオンライン聖書教室が新たに始まりました!

第1火曜日 午前の部 10:30~12:00

午後の部 19:30~21:00 会費制。

お問い合わせ、お申し込みは、アシュラムセンターホームページで!

祈りのつながりに感謝です。

「聖書と学ぶ会」

自称? (若者向け)

…聖書について学ぶのではなく、この不確実で壊れやすい現実に生きることを聖書と学ぶ会、どんな出会いがあるのか楽しみに…

アシュラム誌 '20.7月号 榎本 空 アメリカ雑誌より

毎月 第2土曜日 日本時間 PM 8:00 ~
ZOOM 世界中どこからでもご参加できます。
入り方 [アシュラムセンターホームページ

⇒聖書教室⇒聖書と学ぶ会

事務局 榎本 光太



チム・シメオンの使徒?

⇒シメオン庭造り、始まりました!庭師、木こり、そして青年達。祈りと力を合わせて!!大きな木が切り倒され、明るくなった入り口にて



⇒今治の幼稚園の昭子先生、近くに転居。甲西伝道所での再会、照れます。患師、59歳。感謝!!



←後宮松代姉(右)、久しぶりに近江八幡へ。和子母との再会を喜び、シメオン庭にて、兄、保郎師を思い祈る



主幹牧師の2019年度の振り返りと2020年ビジョン(3)

国内においては各地域でのアシュラムが開かれた。新しくセンター主催の四国アシュラムや茨城の山本悦子先生を中心に下妻シャローム教会アシュラムが始められた。感謝なことである。しかし同時に、いくつかの地域アシュラムが、継続が不可能になるという知らせが届き、心を痛めると共に、私たちアシュラムセンターの力のなさを申し訳なく思っている。年頭アシュラムが、45回という回を重ね、古くからの地域アシュラムもそれに近い年数を重ねてきておられることと思う。そのような中で、高齢化と参加人数の減少で、本年もアシュラム開催が危ぶまれているところが、少なからずあるに違いない。これからのアシュラム運動や日本のキリスト教会、そして日本の国自体を考えると、これもまた、神の計画の中であるとも考えることもやむをえないことであろう。しかし、神はそのような中で不思議を行われる方であることを私は、この間のアシュラム運動の推移を見ながら感じている。



昨年の阪神アシュラム。43回目

今回奉仕者としてきてくださった、遠藤誠一牧師は、長く東京で教師生活を続けられ、後に献身し、今故郷である、島根県の安来教会の牧師として働かれている。若き日、深沢教会で、村田武一牧師の薫陶を受け、アシュラムを知られ、以来その信仰生活の柱にみ言葉に聴き祈る

ことを置かれている。その先生が、一昨年より山陰アシュラムをお世話くださるようになった。消え入りそうになっていた山陰でのアシュラムが、今再び息を吹き返そうとしている。そしてそれは、一つ山陰アシュラムだけのことでなく、他にも、あそこも、ここも、この神の不思議なみ業を目撃することができたのだ。

「武力によらず、権力によらず、ただわが霊によって、と万軍の主は言われる」

(ゼカリヤ4：6)

この万軍の主の奇跡を今年も目撃するものになりたい。(続く)



昨年の日光オーリーブの里アシュラム。長く続けられた常磐アシュラムを引き継ぎ、センター主催に。7回目

お便り紹介します



早天祈祷会の皆様へ

嬉しい祝福のお葉書をありがとうございました。イエス様が共にいてくださることを忘れないで、神様によって命与えられ生かされている日々を喜んで感謝して 過ごせますよう希う者です。

祈られている幸いを感謝して「私も祈りを！」と祈りました。

しらいしみえこ(恵師、幼稚園の恩師)

「平凡に 生き老い病める わがために 若きの祈り 身に余りけり」
「罪許し 病を癒し 良きものに 満し給える 主なる御神は」
小林 佳子

みことば



日本基督教団 安来教会牧師
山陰アシュラム推奨者
遠藤 誠一

「祈りについて」20年ぐらい前から数年間、保田みゆき牧師から深沢教会の「バイブルアカデミー神学院」で学んだことを、記してみたいと思います。(保田みゆき牧師は引退されました)

③求めなさい

イエス様は「求めなさい」と言われたので求めなさい。最高のものを求めなさい。それは、肉体ではなく靈魂のためのものです。その中で第一に求めることは、聖霊です。聖霊を求めて、聖霊に満たされるように求め、さらに聖霊の賜物を求めなさい。靈魂が恵みを受ければ、全ての点で恵みを受け、肉体も健康になります。(Ⅲヨハネ2)

次に、この世の中で求めることができることを、祈りの課題として求めずに、神からだけ得ることができる、靈的なものを求めなさい。神だけが下さるものを求めなさい。価値のある永遠なるものを求めなさい。神はまず求めるべきものと、後で求めるものを区別されました、後で求めるものを先に求めてしまったら、聞かれません。「だから、何を食べようか、何を飲もうか、あるいは何を着ようかと言って思いわずらうな。これらのものはみな、異邦人が切に求めているものである。あなたがたの天の父は、これらのものが、ことごとくあなたがたに必要であることをご存じである。まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう」(マタイ6:31-33)とされました。

また「あなたがたが、罪の赦しを受けなければならぬことと、全世界の栄光を受けることでは、どちらが一番大切なのか?」と聞かれます。「全世界を得ても、自分の命を失ったら何の意味があるか」と言われました。

「だから、彼らのまねをするな。あなた方の父なる神は、求めない先から、あなた方に必要なものはご存じなのである。」(マタイ6:8)

人間は自分の欲望のために、神の御心に逆って、何も得ることができずに虚しくなっています。あなたが、もし強盗に遭ったらどうしますか、命を

捨てても、財産に手をつけるなど求めますか?それとも、命を助けてくれと言うのでしょうか?誰でも、自分の命だけは助けて下さいとひたすら頼むでしょう。このように、何が先ず大切なことなのかを判断することができなければ、命を失い、また財産も失ってしまいます。

ましてや、どうして人は神の御前で、素直ではないのでしょうか?多くの人々が、神の御前に出て行って求める時、神の御心通りに、何を一番求めるべきかを考えないで、肉体の欲望に従って求めてしまうので、与えられた貴重な時間を虚しく過ごしてしまっているのです。

私たちは、聖書で何が一番大切かを学びました。聖書が言うことは何でしょうか?「生命」です。神が、エデンの園で人間に「善悪を知る木からは取って食べてはならない。それを取って食べると、きっと死ぬであろう」(創世記2:17)と言われました。これは神が生命をまず保とうとされたことなのです。(次号につづく)

予定変更もあり。
ホームページ、電話等でご確認下さい。

8月の聖書教室など

【主な問い合わせ先】
0748-33-4030
アシュラムセンター

8(土)	聖書と学び会 New!!
16(日)	ちいろば牧師記念チャペル夕礼拝・ライブ (PM5:00)
9/1(火)	ZOOM 聖書教室② (AM10:30~ PM7:30~)
9/4(金)	阪神ミニアシュラム (主恩教会 PM1:00)

8月のアシュラムなど

13(木) 15(土)	第40回 青年アシュラム(宝塚黙想の家) 072-250-5224 奉仕者 加々美要師 小林牧人兄
----------------	--

9月のアシュラム予定

18(金) 19(土)	第46回 新潟アシュラム(じよいあす新潟会館) 0250-23-2697 奉仕者 櫻本恵師 吉澤昭男師
----------------	--

10月以降のアシュラム予定

10月7(火)~8(水)~9(木)	第8回 日光オリーブの里アシュラム
10月9(金)~10(土)	第21回 愛知一泊アシュラム
10月13(火)	第24回 埼玉一日アシュラム
10月19(月)~21(水)	第45回 京浜アシュラム
10月29(木)~31(土)	第28回 盛岡・秋田アシュラム
10月30(金)~31(土)	第25回 北陸・富山アシュラム
11月19(木)~20(金)	第44回 阪神アシュラム